

平成7年12月から平成9年にかけて、愛知県一宮市周辺においてTAIP工法で鋼管矢板工事が現在も施工されています。

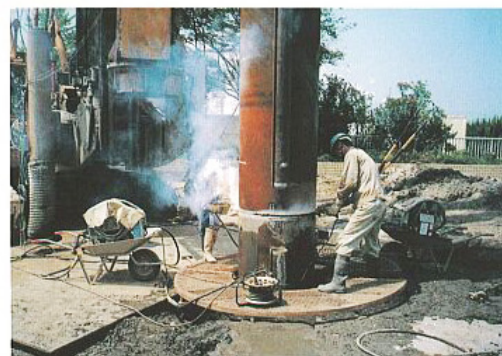
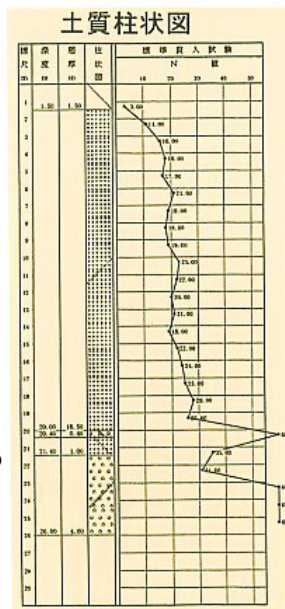
この工事は、起点である愛知県一宮市から終点の富山県小矢部市へ中部地方を南北に貫き、名神高速道路と北陸自動車道を連結する延長約185kmの幹線道路である東海北陸自動車道の高架橋基礎工事の一部です。



セメントミルク注入状況



閉合杭建込み状況



鋼管矢板溶接中



掘削圧入施工状況



今回の施工は、添付のボーリング図の様に杭先端付近の玉石の為、難施工が予想されました。閉合杭の施工に時間がかかる場合もありましたが、ほぼ順調に施工を進めています。現在、1基当たり実働20日位で打設中です。

施工機械

ベースマシン	DH608-120M
減速機	120H~240H
クローラークレーン	50t~55t吊



掘削圧入施工状況



鋼管矢板沈設開始

工事概要 工事名：東海北陸自動車道高架橋(下部工)工事

場所：愛知県一宮市大和町苅安賀～尾西市

設計管理：日本道路公団 名古屋建設局

施工明細：

- ・苅安賀工区 元請：日本国土開発(株) 竹中土木(株)
φ800 19.8m~24.5m
18set~24set/基 井筒 29基 計583set
- ・馬引工区 元請：村本建設(株) (株)新井組
φ800 21.0~23.0m
18set~20set/基 井筒 14基 計279set